

資料	3 - 3
平成24年8月28日 定例記者会見資料	

# 多摩川由来の崖線の緑を考える シンポジウム・ウォークラリーの開催について

【目的】多摩川由来の崖線の緑と生き物について幅広く市民に周知・啓発し、その魅力と役割を認識していただくとともに、保全に向けた取り組みへの理解と市民と行政とのさまざまな連携を促進する。ウォークラリーは子ども連れの参加ができるようなものとしたい。

【開催日】平成24年11月17日(土)

## ■シンポジウム

- (1) 時間 午前10時～11時45分
- (2) 場所 昭島市民会館
- (3) 内容 ①基調講演「都市の緑と生き物（仮題）」

安西 英明 氏（日本野鳥の会主席研究員）

- ②パネルディスカッション「崖線の緑と生物の保全について（案）」

コーディネーター 安西 英明 氏

※参加者(案) ・NPO自然環境アカデミー（福生市）  
・福生萌芽会（福生市）  
・大神水辺の散歩道の会（昭島市）  
・「はけの下」の自然を守る会（昭島市）

## ■ウォークラリー

- (1) 時間 午後1時～4時
- (2) コース 拝島第四小学校付近→水鳥公園→南公園→福生第五小学校付近（約2.5Km）
- (3) 内容 ①ポイントで解説員により解説を行う。  
②若年層の参加を促すため「生き物ビンゴ」などのクイズラリーを行う。  
（南公園）  
③福生第五小学校体育館で野鳥等の展示等を行う。  
④参加者へ記念品（苗木、巣箱など）を配布する。

【主催者】多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会

（福生市、調布市、府中市、国立市、立川市、昭島市、羽村市、青梅市、東京都）

【助成】本事業は公益財団法人東京市町村自治調査会から市町村共同事業助成事業として助成を受けている。

【担当】 都市建設部まちづくり計画課 電話：042-551-1952